

第56回 西高祭実施



入試広報係
×
編集局共同制作号

第66号
発行
2020年
8月19日(水)
上田西高 校
新聞委員 会
編集局
編集局長:高杉月
×
入試広報係
写真撮影
高杉月
中村光里
橋爪ここ菜
竹内美結



開催式で太鼓を披露する生徒会役員の様子

今年には新型コロナウイルス、拡大防止のため文化祭を一日で行った。また感染防止のために多くの課題をクリアする必要があった。個人的に2日間ではなく、1日で行えないということがとても心苦しく感じた。3年生にとっては最後の文化祭。最後までも残りがあるかもしれないと感じる人もいるだろう。1日のみ終わってしまっただが、生徒達はいつもの以上に準備の段階か

らいつも以上に計画を立て、完成度を高めていたと思う。西高祭当日は天気にも恵まれて文化祭を誰もが楽しんでいると感じた。今までの経験した事のない文化祭を作り上げた生徒会、各部門でのクラスでのまとまりが、このコロナ禍のなかで、「magic」にかかったような成功を上げることが出来た理由なのではないかと思う。1日という短い期間での文化祭だったが、準備期間から文化祭

気分を味わうことができた。最高の文化祭になった。文化祭を通してやっと明るい西高が帰ってきたと感じた。文化祭開催に関わった関係者すべてにエールを送りたい。

8月1日(土)に第56回西高祭が行われました。新型コロナウイルスの影響でこれまでの学校行事のほとんどが中止となり、部活動の各種大会やコンテストの多くが中止となり1学期は暗い話題ばかりでした。ですが、1学期を締めくくると西高祭で生徒達の生き生きとした姿や多くの笑顔が見ることができ、やっと

スナップ写真は裏面で
明るい西高が戻ってきたのだと感じました。全国や県内でもまた新型コロナウイルスが流行ってきていて気が重なり、西高祭でもう一度元気を今後の高校生活へのパワーにしたいという気持ちでいます。西高祭での濃密な1日を写真で振り返りました。裏面をご覧ください。
(8月3日(月)入試広報係)

関係者すべてにエールを

一日だけの文化祭は生徒達にとっても大変なものだったと思います。ステージ発表を行うクラスは一度しか発表する機会がなく、オアシエ、校門アーチも限られた時間しか披露できません。販売も既製品しか売ることができませんでした。そして、何よりも今年是一般公開ができなかったため、家族や

これまでに経験した事のない文化祭を計画し成功させた生徒会、限られた時間の中で一杯輝いた生徒達、西高祭の成功はまさに「西high magic」だったのではないのでしょうか。たった一日の文化祭でしたが、最高の一日となりました。生徒会役員、皆さん、係の先生方、生徒の皆さん本当にお疲れ様でした。
(8月1日(土) 入試広報係)



前夜祭で西館に映し出されたプロジェクションマッピングの様子

今年しかない西高祭を思い切り楽しみたいという思いで書きました。今年しかない西高祭を思い切り楽しみたいという思いで書きました。今年しかない西高祭を思い切り楽しみたいという思いで書きました。今年しかない西高祭を思い切り楽しみたいという思いで書きました。
(8月1日(土) 入試広報係)

今回はコロナ禍の中で行われた、西高祭についてを紹介いたします。学校が再開して二ヶ月、感染対策をしながら文化祭の運営を行うという難しい状況の中、役員、先生方は綿密に対策をねり、今まではない文化祭を作り上げました。例年とは全く違う形での西高祭となり、ある意味皆さんの心に深く残った西高祭となったのではないのでしょうか。
(中村光里)

生徒会役員による西高太鼓が高らかに打ち鳴らされ、第56回西高祭が幕を開けました。たった一日だけの文化祭です。上田西高の長い歴史の中でこれほど短い文化祭があったでしょうか？おそらく今回が初めてのことだったと思います。今年の西高祭は未知への挑戦でした。新型コロナウイルスの影響で例年二日間で行っていたものを

一日で行わなくてはならないため、内容を大幅に変えなくてはいけません。また、新型コロナウイルスの感染防止対策も併せて考えなくてはなりません。多くの課題がある中で生徒会役員や生徒会関係の先生達は何度も話し合いを重ね、これまでにない西高祭を作り上げました。

他校の友達などに頑張っている姿を見ることができません。生徒達の文化祭へのモチベーションが心配されましたが、準備の段階から生徒達は一生懸命に取り組み、西高祭当日も文化祭を心楽しんでいる姿が見られました。

第56回西高祭・前夜祭が開催されました。今年には新型コロナウイルスまん延のため、感染防止策を施して、一般公開なしという異例の事態となりました。しかし、このよ

うな状況の中、生徒会役員たちは随所に工夫をこらして、西高祭開催を実現させました。前夜祭では、2本の動画が公開されました。この動画は、校舎の壁をスクリーンとして上映しました。生徒会長の白澤芽衣さんは会長挨拶の中で、この動画に込めたのは、「コロナ禍でも、クラスの仲間、となりの人が大切な存在になって欲しいという願いです。」そして、「頑張っている全ての人にエールを送ります!」と話しました。さらに「私が見たいのは、西高生みんなの【笑顔】です!」今年しかない西高祭を思い切り楽しみたいという思いで書きました。

話し合い重ね 初の試みを成功させる

前夜祭でプロジェクションマッピング披露

西高祭フォトスナック

